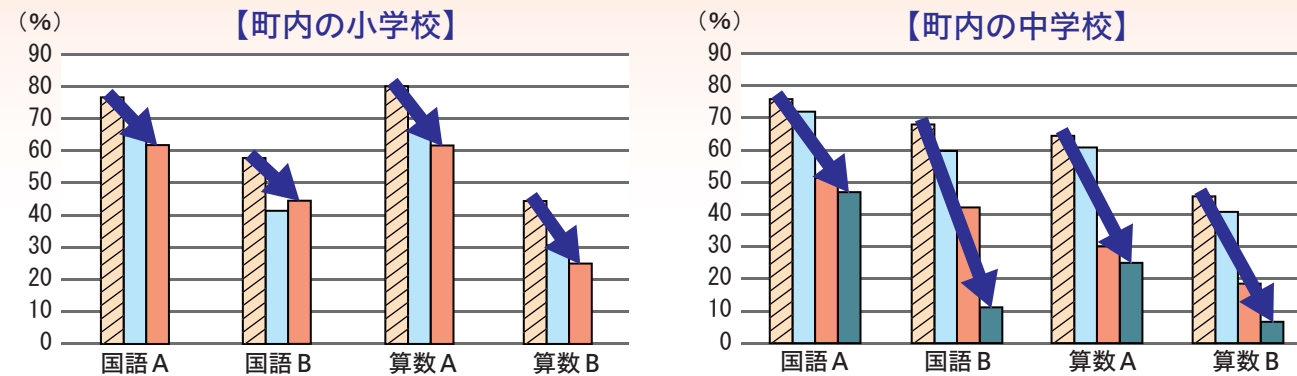


《厚岸町の児童・生徒へのアンケート結果より》

『朝食を食べる児童・生徒』と『正答率』の関係



■ 毎日食べる ■ どちらかといえば食べる ■ あまり食べない ■ 全く食べない
 ※小学校では『全く食べない』と答えた児童がいなかったため、グラフには表示していません

朝食を食べる、食べないで正答率の差がはっきりと!!

『早寝・早起き・朝ごはん運動』の一つである、朝食摂取と正答率の関係性が明確になりました。小学校国語 A で、『朝食を毎日食べる』児童の平均正答率が76.6%に対して、『あまり食べない』児童は61.7%であり、14.9%も落ちています。中学校では、さらに顕著なものとなりました。

～『わかった』『できた』を実感する学びへ～

学校では

- ・楽しく学ぶ環境づくりに努めます
- ・学習規律を徹底するとともに、学び方や学習の方法を指導します
- ・子ども一人一人の思考を促します
- ・自分の思いや考えを表現する力を育てていきます
- ・体力、健康、安全への意識向上を継続的に図ります
- ・操作活動や体験的な活動を効果的に取り入れ、記憶に残る学習活動を進めます
- ・学校間の情報共有を図り連携を深めます
- ・学校の様子をわかりやすく保護者へ伝えます

教育委員会では

- ・町内の学力・学習状況を分析し、成果や課題から改善策を提示します
- ・指導方法の工夫改善を進め、少人数指導や複数支援体制の学習を推進します
- ・先生の研修の機会を増やし、授業力を高めます
- ・情報館や分館、図書館バスの活用を積極的に進め、学校との連携を図ります
- ・町P連と協力して、情報端末機器使用ルールの実効性を高めていきます
- ・社会性や人間性を高める体験活動の充実を図ります

家庭では

- ・『早寝・早起き・朝ごはん』の生活リズムを継続できるようにしましょう
- ・家庭学習の習慣化を図りましょう（学習時間と読書時間の確保）
- ・お手伝いなど、家庭での役割を持たせましょう
- ・親子で情報端末機器の使用ルールを確認し、しっかり守らせましょう

●問い合わせ／教育委員会指導室(役場内)

お知らせします 厚岸っ子の学びの状況

～平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から～

4月18日に全国学力・学習状況調査を実施しました。調査では国語や算数・数学の2教科のほか、学習の状況をとらえるための児童・生徒質問紙調査も行いました。この調査で把握できる学力や学習状況は全体の一部ですが、調査結果から学校教育活動の状況や、児童生徒の学びの状況と傾向をとらえることで、今後の教育活動の改善を進めていきます。

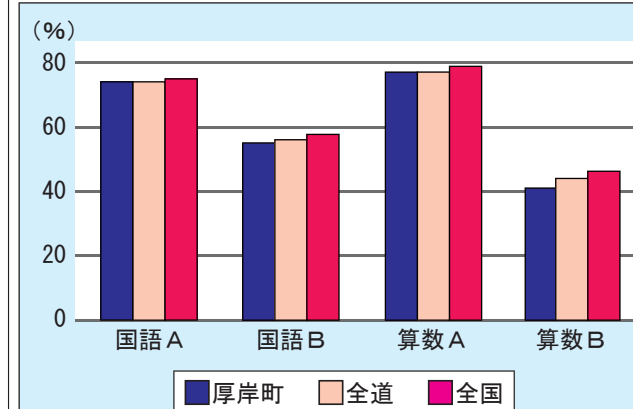
全国学力・学習状況調査の概要

1. 調査対象 町内の小学校6年生(全児童)…77人
町内の中学校3年生(全生徒)…79人
2. 調査内容
 - (1)教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ①主に基礎的な『知識』に関する問題
国語 A、算数・数学 A
 - ②主に『応用』や『活用』に関する問題
国語 B、算数・数学 B
 - (2)質問紙調査
 - ①児童生徒に対する調査
 - ②学校に対する調査



厚岸町・全道・全国の平均正答率(%)

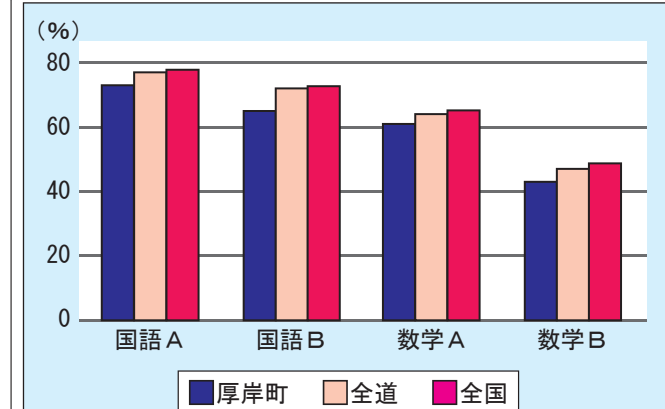
【小学校の状況】



全国との差は、大幅に『縮まって』います

- 漢字の書き取り(対象・希望者・置く)
- 目的や意図に応じ適切な言葉遣いで表す
- $6 + 0.5 \times 2$ を計算する
- 未知の数量□を用いて場面にあった式を表す
- 登場人物の心情や場面描写をとらえる
- 測定値の平均を求める
- 割合を比較するために適したグラフの選択

【中学校の状況】



国語 A・数学 A B で全国との差を『縮め』ました

- 漢字の読み書き(営む・覚悟)
- $4x = 7x + 15$ を解く
- 多角形の内角の和の求め方
- 語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う
- 話の論理的な構成や展開に注意して聞く
- 付加された条件下で図形の性質を用いる
- 必要な情報を選択し事象に即して解釈する

※『○』は全国平均を上回った問題。『●』は全国平均から7ポイント以上低かった問題